

土木工学・建築学委員会 IRDR分科会（第25期・第4回）

議事録

1. 日時 令和3年7月30日(金) 15:00-17:00

2. 会場 オンライン会議 (zoom)

3. 議題

(1) 前回議事録の確認

(2) 国内外連携活動の報告

(3) 25期活動計画について

1) IRDR Pre-session および International Conference の開催報告

2) IRDR 次期計画について

3) 関東大震災 100年を迎えるに当たって

4) ぼうさいこくたいの準備状況

(4) その他

4. 出席者 (分科会) 小池俊雄、佐竹健治、風間基樹、川崎昭如、小森大輔、
齊藤大樹、寶馨、多々納裕一、田村圭子、塚原健一、西嶋一欽、林春男、
堀宗朗、宮野道雄、小野裕一、西川智
(オブザーバー) 池田鉄哉、小浪尊宏、田端憲太郎、廣木謙三、山崎律子
(ともに名簿順、敬称略)

5. 議事

アクション・アイテム

(1) 前回議事録の確認

- ・ 第2回分科会 議事録 (資料04-01-01 IRDR_第2回_議事録)
- ・ 第3回分科会 議事録 (メール審議) (資料04-01-02 IRDR_第3回_議事録(メール審議))

(2) 国内外連携活動の報告

1) 各機関からの報告

① 第5回 国連 水と災害に関する特別会合 (オンライン会合6/25)

- ・ 資料04-02-01-01-01 TF3_資料5.2_1_第5回水と災害特別会合概要_06222021_2
- ・ 資料04-02-01-01-02 TF3_資料5.2_2_STSWD5 Concept Note_06222021_ver3

② UNDRRインドネシア・Global Platform (2021年5月@バリ)の Organizing Team

- ・ 資料04-02-01-02-01TF4_追加資料1_GP2022 Session List FINAL 03_06_2021 (1)
- ・ 資料04-02-01-02-02 TF4_追加資料2_GP2022 Organizing Teams FINAL 12_07_2021

③ UNDRRインドネシア・Global Platform Thematic Session 15

- ・ 資料04-02-01-02-03 TS15-EW-EA-Concept Note-DRAFT
- ・ 資料04-02-01-02-04 UNDRR OTs briefing - TS15

④ Alik Ismail-Zadeh氏によるProgress in Disaster Science誌論文

- ・ 資料04-02-01-03 TF4_資料3-1_Alik Ismail-Zadeh氏送付論文
 - 国際的な動きは注視し続ける必要があり、タスクフォースで対応する。

⑤ Call for submission of case studies for “Scoping study on Systemic Risk, Cascading and Compound Disaster/Risk in the Asia-Pacific”(UNDRR)

- ・ 資料04-02-01-04 TF4_追加資料3_APSTAGSystemicRisk_CallforCaseStudiesFINAL-1

⑥ GADRIの活動

- ・ 資料04-02-01-05 Prog_5GS_GADRI_2021_28July_latest

2) 防災減災連携研究ハブの活動

① International Centres of Excellence (ICoE) 関連

- ・ 資料04-02-02-01 TF3_資料3_1_202106223 draft EOI (Japan ICoE)3
- ・ 資料04-02-02-02 TF3 TF3_資料3_2_210622 Annex I ICoE Member List
 - 防災減災連携研究ハブの英語名称は、Japanese Hub of Disaster Resilience Research Partners (J-HoP)と決定。
 - ICoEの承認に関連して、9月か10月にSCが開催される見込み。

② 科研費・学術変遷領域への申請

- ・ 日本学術会議ではなく、防災減災連携研究ハブの若手の研究者を中心に科研費を申請。

(3) 25期活動計画について

1) IRDR Pre-sessionおよびInternational Conference の開催報告

①5月20日のIRDR Pre-session関連

- ・ 資料04-03-01-01-01 TF2_資料3-1_A Pre-session for 2021 IRDR Conference hosted by Japan-National Committee20210429CL

- ・ 資料04-03-01-01-02 TF2_資料3-2_Reporting in the Pre-session (Japan)20210526R
- ・ 資料04-03-01-01-03 TF2_資料3-3_IRDRPre session 議事概要案20210526
- ・ 資料04-03-01-01-04 TF2_資料3-4_当日プレゼン資料1_Pre-session 210520 HH rev_kt2
- ・ 資料04-03-01-01-05 TF2_資料3-5_当日プレゼン資料2_Pre-session_210520_TK
- ・ 資料04-03-01-01-06 TF2_資料3-6_当日プレゼン資料3_Pre-session_210520 KT rev
- ・ 資料04-03-01-01-07 TF2_資料3-7_当日プレゼン資料4_210520_IRDR-Pre-Conf_Kawasaki
- ・ 資料04-03-01-01-08 TF2_資料3-8_当日プレゼン資料5_Panel Discussion Slides_210520

②6月9日のIRDR Main Conference報告 : Integrated Research on Disaster Risk (IRDR), ISC

- ・ 資料04-03-01-02-01 TF3_資料2-1 Pre-session, Japan 議事概要_2021.05
- ・ 資料04-03-01-02-02 TF3_資料2-2 Conference, 林プレゼン報告 (概要)

2) IRDR次期計画について

- ・ 次期Research Agenda DocumentへのJapan NCとしてのインプット
- ・ Research Agendaに対してJapan NCとして打ち込むべきポイント
- ・ 資料04-03-02-01 TF1_資料3_THE-DRAFT-RESEARCH-AGENDA-ZOD-v5-11-April-2021
- ・ 資料04-03-02-02 TF1_資料3_2_IRDR Research Agenda Document memo210427
 - 今後 10 年の DRR 研究の中心的テーマ (Global Risk Landscape) として 8 分野が挙げられている。
- ・ 日本は「6) Harness technologies, innovations, data and knowledge for risk reduction (先端技術、データ、知識を活用した防災を実践する)」を中心としたセッションを担当。「7) Foster multi-stakeholder collaboration for solutions to risk challenges (共創を推進する)」のファシリテーターも含む。
- ・ 次期計画についての今後の予定はまだ公式には来ていない。Global Research Agenda のスコーピングに関するアンケート調査を実施している。
 - 積極的に回答して欲しい。

4. 関東大震災100年を迎えるに当たって

1) 報告 : 5月24日の土木工学・建築学委員会 (第 25 期・第 3 回)

- ・ 資料04-04-01-01 TF2_資料1-1_20210524_土木工学・建築学委員会_次第
- ・ 資料04-04-01-02 TF2_資料1-2_0210524_土木工学・建築学委員会_IRDR 分科会
- ・ 林委員長が IRDR 分科会の設置目的やメンバー、各種の活動プログラムを含めた IRDR の概要、タスクフォースの議論と分科会の活動内容を紹介。
- ・ 日本は世界で初めて IRDR の National Committee を創設。21 期から構想して、22 期から本格的な活動を行っていることを報告。

2) 意見交換：第25期IRDR分科会活動案

- ・ 資料04-04-02-01 TF4_資料4.2_第25期IRDR分科会活動案
- ・ 資料04-04-02-02 TF3_資料4.2_日本学術会議主催学術フォーラムの選定及び実施について

3) 報告：7月8日 第三部・提言等に関する情報交換会

- ・ 資料04-04-03-01 TF4_資料4.3_1_1_提言等に関する情報交換会プログラム1 (8日13-16時)
- ・ 資料04-04-03-02 TF4_資料4.3_1_2_提言等に関する情報交換会プログラム2 (8日16-18時)
- ・ 資料04-04-03-03 TF4_資料4.3_1_3_提言等に関する情報交換会プログラム3 (13日9-12時)
- ・ 資料04-04-03-04 TF4_資料4.3_2_三部意思の表出意見交換会説明資料IRDR分科会
- ・ 提言を通して、国際社会に科学技術の役割を伝えることは、学術会議の一つの重要な役割であり、学術会議の幹部会では国際に対して高い期待と要望がある。
 - ほとんど議論に基づく提言を作ることで終わることが多い中で、枠組みを作ることは珍しいと評価。

・ 前回の提言は考え方を提示したので、次はどう具体的に実施するかを示す必要がある。日本がこれから経験するであろう巨大災害に対して、科学技術としてどう対応するかをまとめることが大事。地球物理や工学、人文社会科学等のグループと連携して学術会議の総力を上げて取り組むことは、我が国の次の 100 年をデザインする上で重要。
(国際会議の開催について)

- 来年は英国ロイヤル・ソサエティーとの共催を検討。他国のアカデミーとの連携が有効なので、日米で取り組むのも一案。

4) 地球惑星科学委員会・社会貢献分科会

- ・ 資料04-04-04資料 5 学術会議社会連携委員会24期記録
- ・ 7/13、地球惑星の委員会で提言の紹介があった（資料 04-04-04）。今後取り組むべき課題として、国家存亡に関わる超巨大災害、富士山大規模噴火などが挙げられている。
- ・ 以前、春山委員と寶委員が合同でやったように、今回も共同して取り組みたい。

5. ぼうさいこくたいの準備状況

- ・ 資料 04-05 TF4_資料 5_ぼうさいこくたい公募要領
- ・ これまで課題別委員会（第 24 期・科学技術を生かした防災・減災政策の国際的展開に関する検討委員会）が、IRDR 分科会と合同で開催してきた。1 回目の東京大学やその後の東京ビッグサイト、名古屋での開催に貢献した。
- ・ 今年のぼうさいこくたいの開催時期は、学術変革領域の提案がまとまっている時なので、「学術変革領域のテーマ」と「国難級災害」を組み合わせた内容としたい。

- ・ 本分科会と J-HoP との共催で申請したい。
 - 委員長と幹事で取りまとめる。日本学術会議が主催・共催となる場合、学術会議幹事会の了解を得る必要がある。実務的な準備は J-HoP が行い、本分科会は後援や応援をするという方法もある。日本学術会議での手続きが可能な範囲で、幹事会にかけるとも検討する。
 - ぼうさいこくたいのテーマが国難級災害に関わるものであれば、本分科会も共同の開催主体となることに分科会として承認（Zoom の挙手機能にて過半数を超える賛成を確認）。